

22-03 男女共同参画推進専門委員会議事メモ

日時 平成22年6月22日(火) 9:15~10:20

場所 総合研究棟Ⅱ 第2会議室

出席者 後藤理事、小川学長補佐

水落、中島、大淵、富田、松村、出口、門脇、花見、石阪、鈴山、

◎ 前回議事メモの確認

後藤理事から、事前にE-mailで確認した、22-02男女共同参画推進専門委員会議事メモ(資料1)については、配布資料のとおり記録にとどめた旨の報告があり、了承された。

I 検討事項

1. 平成21年度男女共同参画推進専門委員会報告書(案)について

◎ 後藤理事より平成21年度の活動報告である男女共同参画推進専門委員会報告書(案)が編集審議することが若干遅れているが本日ほぼ出来上がったので、委員各位には事前に原稿をメール送信し、全体像はこの委員会で回覧審議する旨発言があった。鈴山コア人材育成・啓発ワーキング主査より、編集詳細の説明があり、編集完成は6月末を予定しており、全体像は今日了承を得るが、今後一部編集詰め段階で委員の協力要請があった。

2. 各ワーキンググループの取り組みについて

◎ 後藤理事より、前回委員会でも各ワーキンググループの取り組みについて口答で意見交換をしたが、この1年(7月~12月ごろ)の各ワーキングでの取り組みについて期限、達成目標等具体的に紙媒体で表し、今後1ヶ月を目途に各ワーキングで検討頂き次回発表が出来るようにしていただきたい。

◇ 主な意見

- 前回は理事からの課題を中心に各ワーキングの発表をした。考え方は21年度部局別報告会の内容を2年次もステップアップした研修やセミナーの位置づけで部局を回ってやりたい。各部署の委員と部局の担当の教員が打ち合わせて12月までの実施計画を策定して頂きたい。そして12月11日のシンポジウムを行い、1月末の2年目の総括報告会ぐらいの段取りを計画している。幸い12月11日のシンポジウムは国大協の大学改革経費予算が5月末に通知が来て経費担保されたので、男女共同参画事業として、1歩進んで三重大と地域が出会う機会としたい。
- 制度ワーキングとしては、一般事業主行動計画の策定を課題としたが、子育て支援の観点で今後の制度や数値目標計画をきちっとしていきたい。ワークライフバランスの観点から別途アクションプランを策定し、数値目標を立て、工程表を考えてみたい。子育て支援策や期間託児所の問題等ほかの部会と連携をとり、制度化する場合は制度ワーキングが協力したい。ノー残業デーの取り組みを例にとると、事務局側である行政の流れとタイアップして啓発や長期ビジョンを考えていきたい。
- 本年度実施計画の中で、パンフレットの作成は早速取りかかるが、各ワーキングの代表の委員に協力をお願いしたい。
- 保育環境ワーキングとしては、課題を中心に検討した。病院の新さつき保育園は今後可能な限りで活用させていただき、イベント等の一時保育の仕組みや、今後の男女共同参画上の環境整備を考えたい。保育環境等何を調べるかを明確にし、事務サイドと十分な打ち合わせを行ってほしい。
- ハラスメント対策委員会と男女共同参画推進専門委員会のコラボレーションも大切であり、突き合わせを行いたい。
- 育児短時間制度における解釈として、勤務形態が同一であるのか、勤務時間が同一とするのかで病院現場で不明確であったが、勤務時間が同一とする解釈で現在約2名ほど制度を利用している。
- 小川女性支援室長として、女性支援室で夏休み人文学部施設コーナーを利用しての一時保育を8月23日~24日の2日間実施したい。セーフティネットとして、保育の有資格者や、緊急連絡網等の対策をしっかりしたい。
- 各委員においては、他大学の実情調査や、国立女性教育会館の研修等に積極的に計画して頂き、参加して頂きたい。

3. その他

なし

II 報告事項

1. 平成22年度「男女共同参画週間」の実施について
後藤理事より資料2に基づき、男女共同参画週間の協力依頼があった。
2. 三重大学一般事業主行動計画の提出について
後藤理事より資料3に基づき、三重大学一般事業主行動計画がこの委員会の意見が反映され、役員会で決定後、三重労働局雇用均等室に提出された旨報告があった。
3. その他
なし

次回の開催については、7月27日(火)午前9時15分から開催する旨確認した。